

平成 年 月 日

下記依頼書の太字枠内に必要事項をご記入のうえ、催行日の原則2週間前までに、FAX又は郵送にて下記のところまでお申し込みください。 ※土・日曜日、祝祭日に申し込みされた場合は、翌営業日以降の受付となります。なお、2週間前よりも直前のご依頼の場合には、お問い合わせ下さい。

〒519-4393 三重県熊野市井戸町371 三重県熊野庁舎2階

熊野古道(伊勢路)語り部友の会事務局 (東紀州地域振興公社 内)

■紀南事務所 FAX:0597-89-6184 TEL:0597-89-6172

熊野古道伊勢路語り部友の会 依頼書

次頁以降の「熊野古道伊勢路語り部友の会 注意点」及び「紀伊山地の参詣道ルール」につき、確認のうえ同意しましたので、下記のとおり熊野古道伊勢路の語り部を依頼します。

依頼者記入欄	フリガナ	
	氏名または団体名	担当者
	住 所	〒
	電話番号 (打合せ先)	
	FAX番号	
	当日の連絡先 (携帯)	氏名
	語り部ご希望日時	平成 年 月 日 () 時 分～ 時 分
	ツアー名	
	ご希望の峠・コース	
	参加人数	人
	語り部依頼人数	人 (語り部1人でご案内できる上限は20人までです)
	待合わせ場所	※ 未定 (語り部と相談)
	待合わせ時間	※ 未定 (語り部と相談)
交通手段	自家用車・JR・路線バス・貸切バス (大型・中型) 台	
備 考		

語り部を依頼される皆様へ

- ・FAXにて依頼される場合、必ず送信後に電話にて届いたかどうかの確認をお願いします。
- ・語り部の依頼を頂いてから担当する語り部については、通常、語り部希望日の約1週間前までに当会事務局よりFAXにてお知らせいたします。
- ・催行当日の語り部との待合せ時間・場所等について、必ず事前に担当語り部と直接打合せをお願いします。
- ・語り部案内中の事故等については、当会及び語り部個人のいずれも一切の責任を負いませんのでご了承ください。不慮の事故に備えて、あらかじめ旅行保険等の手配をお願いいたします。

熊野古道伊勢路語り部友の会注意点

- ① 熊野古道伊勢路語り部友の会がご案内させていただく基本ルートは下記のとおりです。
 - 1) ツヅラト峠(紀北町) 2) 荷坂峠(紀北町) 3) 一石峠・熊谷道(紀北町) 4) 始神峠(紀北町)
 - 5) 馬越峠(紀北町～尾鷲市) 6) 八鬼山越え(尾鷲市) 7) 三木峠～羽後峠(尾鷲市)
 - 8) 曾根次郎坂・太郎坂(尾鷲市～熊野市) 9) 二木島峠～逢神坂峠(熊野市)
 - 10) 波田須の道～大吹峠(熊野市) 11) 観音道(熊野市) ※大観猪垣道を含む 12) 松本峠～花の窟(熊野市)
 - 13) 横垣峠(御浜町) ※現在、一部通行不可 14) 風伝峠(御浜町～熊野市)
 - 15) 通り峠(熊野市) 16) 浜街道・北(熊野市～御浜町) 17) 浜街道・南(御浜町～紀宝町)
- ② 料金(必要経費)は、語り部1人につき1峠5千円(ただし、八鬼山越えは1万円)です。案内終了後、各語り部に直接お渡ししてください。その際、釣り銭のないようお願いいたします。
- ③ 語り部が1人でご案内できる人数は20名までです。なお、大型バス(定員46名程度)等でお越しになる場合は、バス1台につき2名でのご案内いたします。
- ④ 語り部は、添乗業務を含みません。古道を歩かれる時には、添乗員の方または、語り部と打ち合わせされる方が必ず同行されることを前提としてください。
- ⑤ 語り部は、熊野古道の史跡等についてご説明することを目的としております。(スポーツトレッキング・登山の道案内は対象外となります。)語り部のペースに合わせてお歩きください。
- ⑥ お客様と語り部の安全確保のため、次の(1)(2)のいずれかに該当する場合は、語り部案内を中止します。予めご了承ください。
 - (1) 案内予定地域に警報が発令されている場合(ただし、波浪警報、高潮警報は除く)
 - (2) 当日の古道の状況により、語り部が危険と判断した場合※(1)の場合は、現地で警報が発令された時点で適用となります。当日の、気象庁の発表等には十分ご留意ください。
※なお、この取り決めはあくまで語り部案内実施の有無にかかるものです。ツアー等の催行自体については、主催者にてご判断いただきますようお願いいたします。
- ⑦ 古道歩きは、午前中のスタートを基本に余裕をもった行程・時間を設定してください。(下山時が日暮れになると精神的にも不安になり、事故・遭難の危険性が高くなります。)
- ⑧ 古道歩きには、履き慣れた靴、雨具等、山歩きに適した服装、装備をお願いいたします。また、携帯電話をお持ちの方は歩く前に、十分に充電しておいてください。
- ⑨ 新規語り部養成の一環として、担当語り部以外が同行させていただく場合があります。予めご了承ください。
- ⑩ 語り部依頼書は催行日の原則2週間前までにご提出ください。(直前の依頼には対応できない場合があります。)
- ⑪ 語り部手配が済み次第、担当語り部をご連絡いたします。当日の待ち合わせ場所、時間等につきましては、必ず事前(催行日の前日まで)に担当語り部と直接、打ち合わせてください。
- ⑫ 語り部案内中の事故及び⑥の理由による語り部案内の中止等につきましては、当会及び語り部個人のいずれも一切の責任を負いませんので予めご了承ください。不慮の事故に備えて、あらかじめ旅行保険等を手配していただきますようお願いいたします。

紀伊山地の参詣道ルール

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」は、万物、生命の根源である自然や宇宙に対する畏敬を、山や森に宿る神仏への祈りという形で受け継いできた、日本の精神文化を象徴する文化遺産です。

私たちは、このかけがえのない資産がもたらす恵みを、世界の人々がいつまでも分かちあえるよう、参詣道を歩くにあたって次のことを約束します。

1 「人類の遺産」をみんなで守ります

紀伊山地の自然や文化にふれ、学び、私たち共有の資産の素晴らしさを、みんなの力で末永く後世へ伝えましょう。

2 いにしえからの祈りの心をたどります

この道には、祈りを捧げてきた多くの足跡が刻まれています。今なお続く人々の心に思いを馳せながら歩きましょう。

3 笑顔であいさつ、心のふれあいを深めます

出会った人と声をかけあい、また地域の人々とも交流を図りましょう。

4 動植物をとらず、持ち込まず、大切にします

貴重な動植物が生息する紀伊山地では、存在するもの全てが大切な資産です。自然を愛し、守る心を持ち続けましょう。

5 計画と装備を万全に、ゆとりをもって歩きます

道中は何が起こるかわかりません。中には険しい道もあるので、天候、体調、装備などを十分考えて、無理をせず歩きましょう。

6 道からはずれないようにします

道をはずれることは危険であり、植生などを傷めることにもなります。むやみに周囲に踏み込まないようにしましょう。

7 火の用心をこころがけます

タバコのポイ捨てなど、ちょっとした不注意から火災は起こります。火気の取り扱いは十分注意しましょう。

8 ゴミを持ち帰り、きれいな道にします

地域の人たちが古くから守りつづけてきた道です。ゴミを持ち帰り、来た時よりも美しい道にしましょう。